



2020年4月22日

各位

会社名 株式会社 島根銀行
 代表者名 取締役頭取 鈴木 良夫
 (コード番号 7150 東証第一部)
 問合せ先 人事財務グループ部長 片寄 直樹
 (TEL. 0852-24-1238)

2020年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当行は、2019年9月6日に公表しました2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を、下記の通り上方修正いたしましたのでお知らせ致します。

これにより、SBIグループとの資本業務提携後の2020年3月期下半期(2019年10月1日～2020年3月期)の経常利益が50百万円を上回る黒字となる見込みです。

また、本業の収益力を示すコア業務純益(投資信託解約益除く)においては、2020年3月期△440百万円と4期連続でのマイナスとなる見込みですが、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)においては、SBIグループとの連携効果を主因に黒字化を見込んでおります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大が取引先企業にもたらす影響等、現時点において未確定要素が多く、合理的な業績予想の算出が困難なため、現時点での業績予想は「未定」とさせていただきます。合理的な算出が可能となりましたら、後日速やかに開示致します。

記

1. 業績予想の修正

2020年3月期(通期)(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結業績予想数値の修正

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,590	百万円 △2,180	百万円 △2,380	円 銭 —
今回修正予想(B)	8,840	△1,910	△2,280	—
増減額(B-A)	1,250	270	100	
増減率(%)	16.46	—	—	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	8,577	498	365	65.87

(2) 個別業績予想数値の修正

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,580	百万円 △2,210	百万円 △2,390	円 銭 —
今回修正予想(B)	6,820	△1,910	△2,280	—
増減額(B-A)	1,240	300	110	
増減率(%)	22.22	—	—	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	6,501	432	323	58.28

(3) 修正の理由

個別業績予想において、2020年3月期下半期（2019年10月1日～2020年3月31日）に入り大口取引先の破綻を主因に与信関連費用が当初予想を上回る見込みとなり、加えて、新型コロナウイルスの感染症拡大で市場が混乱し悪化した影響を受け株式等損失が増加致しましたが、SBIグループとの連携のもと有価証券関連収益や役務収益が当初予想を上回ったことにより、経常収益・経常利益・当期純利益はいずれも当初予想を上回る見込みとなりました。また、連結業績予想については、個別業績予想の理由により同様の結果となる見込みとなりました。以上により、2020年3月期の業績予想を修正するものであります。

(参考) 個別業績予想についての補足説明

個別業績予想の2020年3月期下半期（2019年10月1日～2020年3月31日）においては（下表A列）、経常利益において、有価証券関連や貸出金関連、役務収益関連でのSBIグループとの連携効果により、黒字に転じる見込みにあります。

また、2021年3月期（通期）（2020年4月1日～2021年3月31日）においてはSBIグループとの上記連携効果に加え、コスト削減策や業務効率化の効果も発現することから、コア業務純益、経常利益、当期純利益いずれも黒字を確保できる見通しにあります。

A

	2020年3月期上半期 (2019年4月1日～ 2019年9月30日) 実績	2020年3月期下半期 (2019年10月1日～ 2020年3月31日) 見込	2020年3月期（通期） (2019年4月1日～ 2020年3月31日) 見込
コア業務純益（投 信解約益除く）	百万円 △283	百万円 △157	百万円 △440
経常収益	3,167	3,653	6,820
経常費用	5,126	3,604	8,730
経常利益	△1,959	50	△1,910
当期純利益	△2,130	△150	△2,280

※ 本資料に記載されている予想計数は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、新型コロナウイルス感染症の拡大影響のほか、今後様々な要因により、2020年3月期（通期）および2020年3月期（下半期）の実際の業績は、本予想数値と異なる可能性があります。

以 上